

形 成 外 科



1. 形成外科の紹介

愛媛大学医学部附属病院形成外科は日本形成外科学会の認定施設であり、日本専門医機構に認定された形成外科領域専門医育成における基幹施設です。形成外科は体表面から軟部組織までの、数多くの疾患を診療する外科系診療科であり、さらに頭頸部再建、乳房再建、手足の

再建など再建外科としての役割も担っています。本プログラムでは愛媛県の将来を担う形成外科専門医を育成し、愛媛県内で不足している形成外科医療の普及を目指すことを目的としています。

2. プログラムの目的と特徴

形成外科領域専門医の取得に必要な新鮮熱傷、顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷、唇裂・口蓋裂、手足の先天異常・外傷・変形、その他の先天異常、母斑・血管腫・良性腫瘍、悪性腫瘍およびそれに関する再建、瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、褥創・難治性潰瘍、美容外科など

全てを網羅して研修を行い、4年間また、2025年度からは札幌医科大学形成外科、弘前大学形成外科とも連携し、愛媛では少ない先天性疾病などの症例も多く経験することができるようになりました。

3. 経験目標

専門研修の4年間で、医師として倫理的・社会的に基本的な診療能力を身につけると、日本形成外科学会が定める「形成外科領域専門研修カリキュラム」にもとづいて形成外科専門医に求められる専門技能の修得目標を設定します。研修2年目からはマイクロサージャリー

やクラニオフェイシャルサージャリーといったような手術手技を習得するための研修を行います。4年目ではチームリーダーとなって他科との再建手術を計画・実行する能力を身につけるための研修を行います。

4. 指導医と指導体制

准教授	森 秀樹	創傷治癒
特任講師	戸澤 麻美	再建外科・先天性疾患
助 教	村上 達郎	熱傷・難治性潰瘍
助 教	泉本真美子	乳房再建
助 教	木村 千寿	瘢痕・ケロイド

5. 研修に関する行事

	月	火	水	木	金
AM	外来・病棟業務	手 術	外来・病棟業務	手 術	外来・病棟業務
PM	手 術		カンファレンス		

6. 新専門研修プログラム

基幹施設である愛媛大学医学部附属病院と連携施設である松山市民病院、南松山病院、済生会松山病院に加え、市立宇和島病院、愛媛県立南宇和病院など5つの施設での研修が可能です。

【専門医研修のローテーション例】

- 1年目：愛大医学部附属病院形成外科（1年）
- 2年目：松山市民病院形成外科（1年）
- 3年目：南松山病院形成外科（1年）
- 4年目：済生会松山病院形成外科（9か月）、
市立宇和島病院形成外科（3か月）



7. 専門研修修了後について

専門医取得後は大学病院あるいは関連病院で引き続き形成外科の診療を続け、サブスペシャリティである頭蓋顔面外科専門医、日本創傷外科専門医、手外科専門医、美容外科専門医などを目指すことになります。また、博士号取得を希望する場合は専門研修と並行して進める事もできますし、地域医療（南予、東予）を主体に研鑽を積むことも可能です。



8. 専門研修の問い合わせ先

担当：森 秀樹（形成外科 准教授） TEL：089-960-5350



女性医師の働き方、地域枠の先生の働き方についてもいくつかのオプションとサポート体制を整えています。